

7月30日(金) 18:20~20:20 3チャンネル

WS-03(要旨) 【オンラインワークショップ】各領域の「専門医教育」の未来を語ろう！！—卒後教育のシームレス化を目指して。専門医教育の現状と課題を紐解き、未来を語る！
[Online Workshop]Talk About The Future —Medical Specialty Training— Toward An Integrated, Seamless Medical Education in Japan

司会：土屋 静馬（昭和大学） 中川 晋（東京都済生会中央病院）

卒後教育において臨床研修終了後に行われる各専門領域における専門研修は、卒前教育・卒後さらに生涯教育に至るまでの重要な時期であり、これらの教育のシームレス化を実現するためには各研修段階の到達目標の連続性や各研修運営組織の相互の連携が重要と考えられます。しかし、実際には専門領域ごとに研修制度が異なり、各システムが連動し一貫した教育が行われていない状況があります。そのなかで日本医学教育学会ができることはそれぞれの専門教育の運営主体である各学会と教育に関する情報共有を行い、より緊密な連携を行うことであると考えられます。しかし、この各学会間連携とは「言うは易し行うは難し」の課題です。そこで、本ワークショップでは医学教育学的観点から各専門領域の学会とどのように情報共有を行い、緊密な連携を図ることができるかを検討します。まず参加者は小グループに分かれ、ファシリテータより提供された現在の各領域の専門医教育の仕組みと実際の運用について情報整理を行い課題の抽出を行います。次に国内外のいくつかの専門医教育のモデルケースを参照し、その課題解決のための方策について検討します。特に、ここでは本学会と各学会がどのような活動を通して連携を行えるかを討議します。最後に各グループよりその方策について発表を行いまとめとします。本ワークショップは原則として事前登録制で行いますが、当日の飛び込み参加も可能です。すでに所属学会の教育委員会等で中心的な役割を担っている方、将来の学会間の橋渡し役として自身の専門領域の医師育成に従事したい方、また各施設の専門研修プログラムの統括責任者や、基幹病院・連携病院・関連病院でその運用に関わっている方、とにかく専門医教育の未来を語りたい方!まで広く参加者を募集します。専門研修における理想の教育とは何か?そこに共通する教育の重要な項目は何か?それらはどのように学会間で情報共有され、専門医教育の質向上の具体的な活動に繋がられるのか?日本医学教育学会学術大会のなかで、領域を越えて、専門医教育の未来について議論を尽くしましょう!

オブザーバー：小西 靖彦（京都大学）

ファシリテーター：倉島 庸（北海道大学）
Yo Kurashima (Hokkaido University)

西屋 克己（関西医科大学）
Katsumi Nishiya (Kansai Medical University)

南郷 栄秀（社会福祉法人聖母会 聖母病院）
Eishu Nango (Seibo Hospital)

三原 弘（富山大学）
Hiroshi Mihara (University of Toyama)

蓮沼 直子（広島大学）
Naoko Hasunuma (Hiroshima University)

松島 加代子（長崎大学病院）
Kayoko Matsushima (Nagasaki University Hospital)